

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成26年9月30日(火) 5校時

学 級 3年2組 (男女計30名)

授業者 教諭 田畑 周哉

1 主題名 人生を切り拓く (1-(2)強い意志)

2 資料名 高く遠い夢 (東京書籍『明日をひらく』P82~87)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

人として自分の人生を切り拓いていくには、夢や希望、目標を心の中にいただくことが不可欠である。「目標」には一生を通じて達成していくような大きなものだけでなく、日常生活の中で努力を続けていかなければならないようなほんの小さなものもある。しかし、そのような小さいものであっても、自分の頑張りにより達成したときには、次のより高いものに対する自信と勇気がわきあがるものである。このような心の動きは、自己の人生を切り拓いていく原動力となり得る。よって、日々の努力を積み重ねる中で、夢や人生の理想を達成しようとする強い意志が養われると同時に、目標をもって生きることを大切にする意欲や態度も育まれると考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級では、学期の初めや大きな行事の前などに個人目標を設定させ、それに対してしっかりと向き合わせながら、自分の力を向上させていくといった行動を推奨してきた。また、総合的な学習の時間においては、東日本大震災からの復興に向けて、あるいは社会人として情熱をもって頑張っている人たちにインタビューしたり、ともに活動させていただいたりする中で、自分の夢や希望に向けて努力をすることの大切さを実感することによって、多くの大人たちから大きな影響を受けてきた。

しかし、目標や夢をもつことは大切なことであることは理解できているものの、それを達成するために日々の小さな努力を積み重ねていくことが習慣として身につけているとは言えない。自己の進路目標に向けて、こつこつと頑張っていくことがよりいっそう重要となってくるこの時期に、このような実態を踏まえて、より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志と態度をもつことの大切さについてあらためて考えさせたい。

(3) 資料について

本資料は世界最高齢でのエベレスト登頂を目指す筆者が、様々な努力や工夫を重ねることで、自らを目標に近づける喜びやおもしろさを感じながら、目標を達成した充実感がつづられている。

そこで、生徒を筆者の経験に共感させ、その心情や行動の在り方を深く考えさせることで、目標を実現するために、困難に屈しないでねばり強く最後まで着実にやり抜く強い意志と態度を育てるよう指導したい。

また、文章が6ページにも及び範読にも時間がかかるため、筆者の生き方を通して自分自身としっかりと向き合い、級友の考えも参考にしながら自分の生き方について深めさせていくには1時間では難しいことから、2時間扱いで指導することとした。

4 研究主題との関連

本校の研究主題である『主体的に学習に取り組む生徒の育成はどうあればよいか～「教材・自分・級友への気づき」を言語化する活動を通して～』を実現するために、小グループや全体指導において、お互いの考えや意見を自分の考えと比較させながら聴き合い、級友からも学ぶことで道徳的価値に迫らせていきたい。また、気持ちや考えをノートに書き表すことで心の中を整理させ、それを級友に伝えることで自分自身に向き合い、自分の考えをじっくりと深めさせていきたい。

5 他の教育活動との関連

- ・特別活動「体育祭の取り組み」「修学旅行の取り組み」「学習計画の再検討」
「1学期の反省と夏休み計画」「2学期の目標」
- ・総合的な学習の時間「未来を拓く～自分の生き方を考え、自分自身を磨き上げる～」
- ・数学「数学の歴史を築いた人々」（課題学習）

6 指導計画

本主題は2時間扱いで指導し、本時は第2時となる。

第1時は本主題の導入として『私たちの道徳』（P16～19）を用いながら、将来への夢や目標、それに対する現在の自分の意欲や態度をあらためて考えさせることで、目標実現のための努力の必要性を感じ取らせ、第2時への素地を作っておく。さらに、資料の範読を終えておく。

7 本時（2／2）の指導

（1）ねらい

自分を高めるための目標に向かって、ねばり強く着実にやり抜こうとする意欲を高める。

（2）展開

過程	主な学習活動と発問（○） ※中心発問（◎）	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入 (5分)	1 主題に関わる自分の経験を想起する。 ○ 大丈夫でできると思ったが、実際やってみるとできなかったことはありますか。	【人間理解】 【自己理解】 ・学習計画を立てたが、自分の心の弱さから、途中で挫折してしまった。 ・目標を立てるが、その後の行動が続かない。	・自分との関わりで考えさせ資料への方向付けを図る。 ・何人かを指名し、人間の心の弱さを感じさせ、共有する。
展開	2 筆者の経験から学ぶ。 ○ 目標に近づくとなぜおもしろく感じるのだろうか。	【他者理解】 【価値理解】 ・自分の力の向上を実感することができるから。 ・自分に自信をもち、次のことにも挑戦しようとする気持ちがわいてくるから。	・目標に近づくために筆者の行動から学ぶことを考えさせ、発問につなげる。 ・個人で考えさせた後、グループ内で共有し、考えを高めさせる。

<p>展開 (30分)</p>	<p>○ 体全体にわき上がった喜びと はどのような喜びなのか。</p> <p>3 自分の考えをノートにまとめ 整理する。</p> <p>◎ 自分の目標や夢を達成するた めに、あなたはどのように行動し ていきたいですか。</p>	<p>【他者理解】 【価値理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦しいことやつらいこともあったが 自分に負けずに頑張り続け、ついに 達成することができた。 ・ 最後まであきらめずにやり抜こうと する気持ちと行動が大切であること が分かった。 <p>【価値理解】 【自己理解】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過酷な状況を体験しながら も、なぜ筆者は強い意志や 態度をもち続けることが できたのかを考えさせた うえで、発問につなげる。 <p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の目標や夢を再確認さ せる。 ・ 今までの自分の経験を振り 返らせながら、考えをまと めることで、自分自身を見 つめさせる。
<p>終末 (15分)</p>	<p>4 お互いの考えを交流する。</p>	<p>【価値理解】 【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の目標に向かって、毎日こつこ つと努力を積み上げていきたい。 ・ 目標や夢を達成するため、少々つら いことがあってもあきらめずに頑張 っていきたい。 	<p>《評価》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の生徒の考えを聞くこと で、自分の考えと比較さ せ、実践意欲をもたせる。 ・ 生徒の意欲的な発表内容に ふれ、余韻をもって終わ る。

(3) 評価

自分の目標に向かって、ねばり強く着実にやり抜こうとする意欲が発言や記述に見受けられたか。

【観察、ノート記述】

(4) 板書計画

